

期末考査が始まります。

文責 学校長



～九州総体・北九州大会で少林寺拳法部・陸上部が躍動～

今週末曜日(6/23)から期末考査が始まります。今回は土・日を挟んだ試験日程になっていますので、試験期間中の土・日を有効に活用して、十分な学習時間が確保して臨みましょう。

1 直木賞作家・今村翔吾先生の講演会を開催しました。

6月15日(水)に『塞王の橋』で第166回直木賞を受賞された今村翔吾先生を講師に迎え講演会を開催しました。この講演会は、「今村翔吾のまつり旅」と称して全国を巡回するお礼イベントとして募集があり、申し込んだところ武雄高校が選ばれて開催の運びとなったイベントです。ダンスインストラクターから夢であった小説家への転身を決意したエピソードなどを熱く語って頂き「夢はかなう」という熱いメッセージを伝えて頂きました。今村先生有り難うございました。



2 九州総体で少林寺拳法部が優勝、陸上部も全国大会へ。

全国総体の出場権を懸けた「陸上北九州大会」が6月16日(木)から19日(日)までSAGAスタジアムで開催され、男子三段跳びで山口源太郎くん(3-2)が最終跳躍で逆転優勝を果たし、男子200mで川崎秀智くん(3-2)が第5位に入賞し、それぞれ全国総体の切符を手に入れました。また、6月18日(土)・19日(日)に「全九州高校少林寺拳法競技大会」が鹿児島で開催され、男子団体演武で優勝、男子組演武で谷口雄一くん(3-2)・淀川政獅郎くん(2-5)が優勝、福島博人くん(2-6)・草場奏太くん(2-5)が第2位、女子組演武で毛利小梅さん(3-6)・真崎萌々子さん(2-2)が第3位、瀬崎希さん(2-4)・中村優花さん(2-1)が第4位に輝きました。

3 国体弓道競技選考会で上位入賞し、国体出場メンバーに選ばれました。

6月12日(日)に多久市民弓道場で行われた国体弓道競技選考会において、近的競技女子個人の部で野中理加さん(1-1)が優勝、古賀由夏さん(1-6)が第2位、橋口嘉乃さん(3-2)が第3位に輝きました。遠的競技男子個人の部で阪本優心くん(1-2)が第2位、女子個人の部で橋口嘉乃さん(3-2)が優勝、野中理加さんが第3位に輝きました。遠的部門の阪本くん、橋口さん、野中さんの3名は国体少年の部の代表メンバーに選出されました。

4 高校席書大会が開催され、6名が入賞しました。

6月12日(日)に3年ぶりに一堂に会して行われた第74回高校席書大会の創作部門で原田彩香さん(3-2)が、臨書部門で織田咲来さん(2-3)、松本愛紅さん(1-1)、小森萌々華さん(1-2)、山口悠衣さん(1-5)、蒲原柚葉さん(1-6)が奨励賞に輝きました。



5 今週の名言・・・宮本武蔵の言葉です。

千日の稽古をもって鍛となし、万日の稽古をもって錬となす。

【解説】こちらは江戸時代初期の偉人で剣豪の宮本武蔵の言葉であり、数々の戦いにて勝利を掴んできた宮本武蔵が考える「技を習得するための極意」が込められています。千日の稽古で技を習得し、万日の稽古でその技を練り上げる。転じて、一つの技を完全に自分のものにするには、ひたすら毎日繰り返し稽古に励むしか道はないということ。「鍛錬」という言葉はこの武蔵の言葉からきていていると言われています。千日といえばおよそ3年。高校3年間はまさに「鍛(鍛える)の時期・期間」ということです。そして万日(30年)をかけて自分自身を「錬」する(練り上げる)のです。



【宮本武蔵について】江戸時代初期の剣術家、大名家に仕えた兵法家、芸術家。二刀を用いる二天一流兵法の開祖。京都の兵法家・吉岡一門との戦いや巖流島での佐々木小次郎との決闘が有名である。後世、演劇・小説・漫画・映画やアニメなど様々な映像作品の題材になり、特に吉川英治の小説『宮本武蔵』が有名である。外国語にも翻訳され出版されている自著『五輪書』には十三歳から二十九歳までの六十余度の勝負に無敗と記載がある。絵画や武具・馬具づくりも堪能で、国の重要文化財に指定された『鶴岡』『枯木鳴鶴図』『紅梅鳩図』をはじめ『正面達磨図』『盧菜達磨図』『盧雁図屏風』といった水墨画や鞍、木刀などの工芸品が各地の美術館に収蔵されている。(参考:「Wikipedia」より)

6 今週の話事成語・・・「七尺去って師の影を踏まず」【問題】英語で表現すると?

師につき従って行く時は、弟子は後ろから歩き、師の影を踏んではいけないということ。弟子が師を敬う心がけを説いた言葉。

【由来】6～7世紀の中国の僧、道宣の「教誡律儀」の一節から。修行中の僧たちに対して、「師匠と一緒に出かけるときには、大声を上げたり笑ったりしてはいけない。『師の影を踏むを得ず、相去ること七尺なるべし(師匠の影を踏んではならず、七尺離れて歩くべきだ)』」と注意しています。「七尺」とは、約二メートルです。「三尺下がって師の影を踏まず」ともいいます。



7 入試によく出る漢字(その37)・・・センターテスト(2003年度追試験)に挑戦!

- (1) 生きるためにセッシュしなければならない。[①大自然のセツリ。②クッセツ率を計算する。③ヨウセツ工場で働く。④セツレツな文章。⑤セツドある振る舞い。]
- (2) オオカミにとって、川やミズウミは・・・。[①山水画のユタンな風景。②監督が選手をコブする。③乗組員をテンコする。④血液がギョウコする。⑤ユシヨウの生物を採集する。]
- (3) カワきをいやす情報をもたらし、[①キョウカツの容疑で逮捕される。②エンカツに会議を運営する。③平和をカツボウする。④新天地にカツロを開く。⑤内容をガイカツする。]
- (4) 地球がタンジョウして以来の古層の大地。[①作品をタンネンに仕上げる。②作家のセイタンの地を訪ねる。③ダイタンな行動をとる。④悲しみのタンソクをもらす。⑤タンセイな顔立ちの少年。]
- (5) 備えていることの意義はハカリしれない。[①ニソクサンモン of 価値もない。②新しい事業をソクシンさせる。③ヘンソク的な動詞の活用。④オクソクにもとづく報道。⑤イッシュョクソクハツの状態。]

8 今週の一冊・・・小田雅久仁の『残月記』（双葉社）です。

近未来の日本、悪名高き独裁政治下。世を震撼させている感染症「月昂」に冒された男の宿命と、その傍らでひっそりと生きる女との一途な愛を描ききった表題作ほか、二作収録。「月」をモチーフに、著者の底知れぬ想像力が構築した異世界。足を踏み入れたら最後、イメージの渦にのみ込まれ、もう現実には戻れない――。最も新刊が待たれた作家、飛躍の一作！（参考：本書裏表紙説明より）

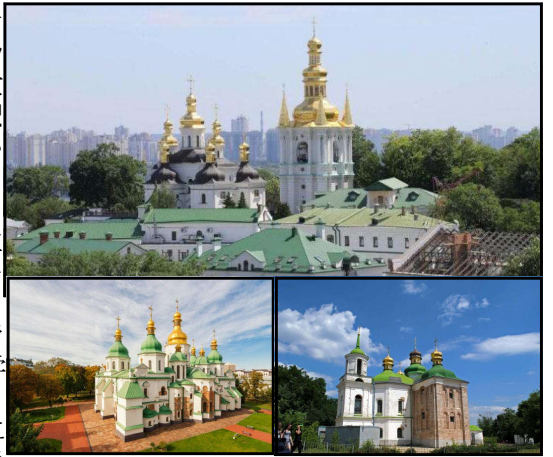


【解説】本屋大賞にノミネートされ第7位に輝いた作品です。月をモチーフとした作品集で、「そして月がふりかえる」・「月景石」の短編に中編の表題作「残月記」からなる一冊です。タイトルが高校現代文の教科書にも掲載されている中島敦の「山月記」を連想させるオーラを放っていたので、書店で早速購入して読みました。「山月記」とは似て非なるような独特の非現実的な世界観が描かれていますので、一般受けは厳しいかもしれません。家族というささやかな幸福の中にあつた男の人生が突如わけもわからぬ力によって別人の人生へと暗転するという摩訶不思議な話（「そして月がふりかえる」）から始まる小田・異世界ワールドが幕を明けます。表題作「残月記」は映画「グラデュエーター」を彷彿させる戦士が描かれ、近未来の日本が舞台となっていますが、「西日本大震災後の日本」で「月昂症」の感染という設定が、予言の書とならないことを祈りたい、読後にそう感じた作品です。運命を翻弄されながら、抗い続けてゆく、愛する女のために人生の勝負に出る主人公・冬芽の生き様に引き込まれます。最後は息を呑む感動のエンターテインメント作品ではありません。

【作者・小田雅久仁について】1974年宮城県生まれ。関西大学法学部政治学科卒業。2009年『増大派に告ぐ』で第21回日本ファンタジーノベル大賞を受賞し、作家デビュー。12年に刊行した受賞後第一作の『本にだって雄と雌があります』で、第3回 Twitter 文学賞国内編第1位を獲得するなど熱い支持を得る。（参考：本書著者紹介文より）

9 世界遺産を巡る・・・第62回はキーウの聖ソフィア大聖堂と関連する修道院群及びキーウ・ペチェールシク大修道院(ウクライナ) (登録：1990年)

【解説】「キーウの聖ソフィア大聖堂と関連する修道院群及びキーウ・ペチェールシク大修道院」はウクライナの首都キーウにある世界遺産です。ウクライナの世界遺産としてはじめて登録されました。かつてロシアへのキリスト教普及に多大な貢献をし、キーウ・ルーシの繁栄を今に伝える聖ソフィア大聖堂、キーウ・ペチェールシク大修道院、ベレストヴォの救世主聖堂を対象としています。聖ソフィア大聖堂はキーウの真中心にあるキリスト教の大聖堂です。ウクライナ最初の中央政権国家キーウ・ルーシ最大の聖堂として1037年に建立され、11世紀から18世紀までのウクライナ建築史上最も名立たる教会であるとされています。キーウ・ペチェールシク大修道院は、キーウのペチェールシク地区にある、11世紀半ばに建てられた修道院です。ロシア正教の中でも数少ない『大修道院』の称号を持つロシア正教ウクライナ支部の総本山で、中世から近世にかけてウクライナの宗教・教育・学問に大きな影響を与えつつ、様々な政権と争ってきた修道院でもあります。未来に残すべきこのすばらしい世界遺産もロシアのウクライナ軍事侵攻に伴い爆撃の標的となるおそれに見舞われています。（参考：「世界遺産人気ランキング」より）



10 街角グルメを訪ねて・・・第62回は神埼町の「わらび餅専門店・門藤」です。

兵庫県姫路市に本店があるわらび餅専門店「門藤」の神埼店がオープンしたという情報を事務室の先生から聞き、先週の「ひろや製パン所」の帰りに立ち寄り、「わらび餅・福ゆたか」と「WARABI-TA 抹茶ラテ」を購入しました。「WARABI-TA」は「飲むわらび餅」といった食感のフラペチーノ感覚のスイーツです。「いちご・珈琲・抹茶・ほうじ茶」の4種類から選べます。「抹茶ラテ」は最高級宇治の抹茶を使い、ほろ苦い中にもスッキリした甘みのわらび餅の食感がクセになる、タピオカよりも断然日本人向きのドリンクに仕上がっています。700円と価格は高めですが、一度味わって欲しいのど越しです。



11 保護者の皆様へ・・・アンケート(いじめ・体罰)へのご協力宜しくお願い致します。

お子様を通じて「いじめ」・「体罰」それぞれのアンケートを配布しています。ご回答宜しくお願いします。

【英語】◇ a student must never forget to honor their teacher (honour) ◇ The pupil should walk [go] three feet behind his teacher lest he step [tread] on his (teacher's) shadow. (三尺去って下がって]師の影を踏まず)

【正解】(1) 摂取〔摂理・屈折・溶接・拙劣・節度〕(2) 湖〔枯淡・鼓舞・点呼・凝固・湖沼〕(3) 渴き〔恐喝・円滑・渴望・活路・概括〕(4) 誕生〔丹念・生誕・大胆・嘆息・端正〕(5) 測り〔二束三文・促進・変則・憶測・一触即発〕